

**Don't tell anyone!**  
**地域資源情報を集めて！！**  
**広めて繋がりよう大作戦！！**

見つける  
集める  
活用する

# 地域<sup>☆</sup> の 魅力<sup>☆</sup> 集め方 ハンドブック

こんな景色  
あったんだ！

65歳以上の  
リタイア世代の  
皆さん、  
出番ですよ！

## この本の使い方は？

HOW TO USE  
THIS HANDBOOK

使い方  
01

### 身近な魅力のを見つけ方を知る! (P4~P13)

5つのテーマごとの専門家=アドバイザーが地域の魅力を探るフィールドワークを行いました。それぞれがお薦めする地域の魅力について一緒に学びましょう！

- 01 地域資源とコミュニティデザイン | 日高仁さん  
(関東学院大学 人間共生学部 共生デザイン学科 准教授)
- 02 景観とまちなみの地域資源 | 鈴木伸治さん  
(横浜市立大学 国際教養学部 都市学系 教授)
- 03 地域に根付く暮らしの文化 | 椎原晶子さん  
(地域プランナー / 株式会社まちはかり舎・あたりアールズ株式会社 代表取締役)
- 04 地域の生物資源から探る地域の魅力 | 山田和彦さん  
(観音崎自然博物館 学芸部長)
- 05 地域資源を集め発信することの意義 | 牧瀬 稔さん  
(関東学院大学 法学部 地域創生学科 准教授)

使い方  
02

### 地域で活動する事例を知る! (P4~P13)

各テーマごとに市内で活動する先輩たちを紹介する「Local Action File」。各ページに掲載。

- 01 合同会社 MISAKI STAYLE
- 02 三浦市観光ボランティアガイド協会
- 03 農業 / 画家 | 三上幸一さん
- 04 朗読サークル ひばりの会
- 05 ふるさとのみつば会
- 06 植物記者 | 金子昇さん
- 07 三浦竹友の会
- 08 三浦の自然を学ぶ会
- 09 地域記録者 | 長島文夫さん
- 10 総合情報マガジン gooone

使い方  
03

### 実際に参加する方法を知る! (P14~P15)

事業に参加する方法や各種スキルアッププログラム、活動の始め方など。まずはメモから始めましょう！ サポート体制も万全ですよ。

## 地域は あなたを 待っています

三浦市に長く住んでいる方も、最近引っ越しされた方も誰でもOK、65歳以上で、特にリタイアした方たちは時間に余裕がありませんか？自分のペースでできる地域での活動を始めましょう！お一人でもお友達とでも、専門のサポーターがあなただけでも、専門のサポーターがあなただけでも活動をお手伝いします。始め方は簡単です。あなたが好きだと思える地域

のことを教えてください。昔の記憶や好きなお店のこと、我が家に伝わる干物の作り方、近くの風景や近所の名物おじさんのお話、もちろん写真やイラストなども大歓迎！また、カメラや動画、インターネット、スマートフォンなど各種講座に参加してみませんか？わずかでも、小さくても貴重な情報です。

こんな情報つまらない？そんなことはありません。一つ一つが集まることによって地域の魅力がどんどん大きくなっていきます。集まった情報はどんどん活用していきます。活用方法も学べますよ！地域はあなたの踏み出す一歩目をお待ちしています。楽しく活動を始めましょう！

# 身近な 地域の 魅力 の世界へ！

ようこそ！

## 地域の魅力って何？

私たちの暮らしているまちの良さってなんだろう？例えばあなたが遠くに住むお友達に自分のまちをどのように紹介しますか？空気がきれい、空が広い、海が見渡せる、夕日が好きなど枚挙にいとまがないほど。しかも、それぞれ個人個人が思う好きなところや取っておきのいいところが違うはず。地域の魅力は皆さんの心の中にあるのです。暮らしの中を見渡せばもともととありますよ。我が家のレンジ、角の家の花壇がすてき、あの桜が満開な時は最高！などなど、あなたしか知らない魅力を教えてください。集めることで地域の大きな魅力に育ちます。

## 地域の魅力が地域を救う！

三浦市は神奈川県の中で唯一「消滅可能性都市」であるとされました。消滅可能性都市とは子どもを産み育てる若者がいなくなってしまうことを危惧するものです。平成27年度に三浦市が実施した調査では市内の若年層(16~39歳)の、なんと4人に1人は将来市外で暮らすことを考えています。一方、令和2年6月の国の調査では東京23区に住む20歳代の若者層の35・4%が地方移住に関心が高まっていると答えました。若い世代の人たちにインターネットでは検索できない三浦市の本当の魅力を伝えることができれば三浦市のことが好きになるはず！地域を救う鍵になります！

## コロナの今だからこそ！

令和2年の年明けから始まった新型コロナウイルス感染症の脅威は今まで経験したことのない生活の変化をもたらしました。飛沫感染を防ぐための三密の回避を始めさまざまな暮らし方の変化を余儀なくされ、新しい生活様式として皆が協力しながら地域で暮らしています。ステイホームも耳慣れない言葉でしたが外出自粛の中、少しでも時間を無駄にしないように各家庭でステイホームの時間を工夫し楽しんでください。その中で、家庭や地域を見直す機会が生まれました。久しぶりに家を片付けた。遠くに行けないから近所を散歩した。そこには日々の暮らしで忘れていた大事なもののや身近な景色がいとおいしく感じる瞬間がありました。そう、身の回りの良さを再発見したのです。ぜひ、その再発見した大事な、いとおいしいモノ・コトのお話を教えてください。コロナ禍から見つけることができましたから。



# 景観とまちなみの 地域資源

普段から見慣れているまちなみ、その裏側に隠されたストーリーに触れることで新たな魅力と出会うことができます。

まちを読み解きながら  
歩こう！

2月8日(月)、人呼んで「まち歩き」の達人「鈴木さんと市民記者」を交えて三崎下町をまち歩きしながら「景観とまちなみ」をヒントに地域の魅力を探りました。

**鈴木さん** まち歩きの前にワンポイントアドバイスです。私たちが日常的に見ているまちなみはさまざま要素が重なり合い成り立っています。まず、長い間積み重ねてきた歴史があります。また、過去から現在までに人間が暮らしに合わせて地域を開発したり造成したりを繰り返してきて、自然や地形が大きく変わっている場所もあります。例えば「この場

よ。私のゼミ生は三崎の古いまちなみを取材し冊子にまとめる活動に積極的に参加し、楽しみながらまちを学んでいます。では、実際にまちを歩いてみましょう。

そして一行は、三崎東岡バス停付近から三崎港へ海南神社へ銀座通り商店街へ日の出地区を目指しました。**市民記者** 三崎のベスト景観はどこでしょうか？

**鈴木さん** なかなか決めることができないのがこの良いところかもしれません。景観は観る人によって印象が異なります。寂れたまちに映る人、趣があると映る人、ある人には懐かしく思う人もいます。



所はその昔古戦場だった」と聞くと、途端にイメージがわいてきますよね。そういった要素を取り上げてまちの魅力を紹介しているテレビ番組に「プラタモリ」があり、非常に人気がありますね。現在は、商売をしている店がただ並んでいるような場所であっても、昔は街道が通っていた！ということもあります。目に見えるものだけではなく目に見えないものも考えながら歩く面白くなりますよ。

**市民記者** テレビ番組「プラタモリ」を楽しんで観ていますが、若い人たちも歴史があるだけの古いまちなみなどに関心を持つのでしょうか？

**鈴木さん** あの番組が長期にわたり放映されていることから幅広い世代から受け入れられていると思います

## 気に入った ディテールを探そう

**鈴木さん** まちなみを構成する建物に注目してみましょう。職人が技術を注いだディテール(細部)に萌えたいですね。今の建築物に見られない細部の装飾などがとても興味深いです。

**市民記者** 上を向いて歩いてみると看板建築など普段見えないところが見えて新鮮で面白いですね。また、路地奥に昔の三崎のまちなみを見たような気がして、ちょっと得した気がしました。以前、三崎に面白い建物がたくさん残っていると聞き、驚



## 三浦市観光ボランティア ガイド協会

三浦の観光案内、イベント支援等を通して、三浦市の貴重な自然・歴史・文化遺産等の魅力を来訪者の方々に紹介しています。

LOCAL ACTION  
FILE 02

LOCAL ACTION  
FILE 03

## 農業／画家 三上幸一さん

古代ローマ宮殿を思い起こさせる「看板建築」の建物、重厚な瓦屋根の蔵、謎いっばいの独特な雰囲気魅せられ、農業に従事する傍ら、三崎のまちなみをスケッチしています。



ATTENDAR



## 鈴木伸治さん

横浜市立大学 国際教養学部  
都市学系 教授

専門は、都市計画・都市デザイン・歴史的環境保全であり、現在三浦市景観審議会委員長としてもご活躍されています。横浜市の「黄金町バザール」など地域の取組みに参画し実践型の研究者です。



### まち歩きの 注目ポイント！

まちのランドマーク、神社やお寺の位置と海・丘陵の関係などを読み解こう！  
地域全体の土地利用の歴史が見えてくるかも。

建物などの素材と細部「石」「タイル」「建材」「扉」などに注目しよう！  
時代、背景がみえてきますよ。

三崎のまちの特徴として、軒先に流し台がある家屋をよく見かけますね！なぜでしょうか？  
このような「まちの特徴」を探してみよう！

まちの古地図を見てみよう！  
地形や交通の変化がわかりますよ！

### まち歩きの極意とは？

**鈴木さん** 「目に見えるものは氷山の一角のごとし」、表面に過ぎません。その水面下にある背景や歴史、暮らし方に思いを馳せるとどんどん面白くなります。物語を紡いでいく

ように、今あるお店やお祭りなどの営みの物語を探ってみましょう。そういった視点で見ると、いつものまちが違ったものに映ってくるはずですよ。まちなみ写真やスケッチなど、あなただけのお気に入りを見つけて、ぜひ、皆さんに紹介してください。楽しんでまちの魅力を発見してくださいね！

朗読サークル  
ひばりの会

LOCAL ACTION  
FILE 04



朗読の勉強会、朗読会、子供向けのおはなし会、「社協みうら」の音訳、高齢者施設や保育園でのおはなし会、朗読CDの配布、方言CDの作製などのボランティア活動を行っています。令和2年5月に「二町谷の方言」という冊子と音声化を記録したCD作成を行いました。この作業を通じて、「なつかしい。」「両親のことを思い出します。」など、市内、市外の多くの方から温かい反応が寄せられました。特におはなし会では、今後も若い親御さん、お子さんたちと一緒に楽しんでいきたいです。

ふるさとのみつば会

LOCAL ACTION  
FILE 05



神奈川県では農家や漁家に受け継がれてきた生活技術を持ち、伝承している者を「ふるさとの生活技術指導士」として認定を行っており、三浦市、横須賀市、葉山町のふるさとの生活技術指導士が連携した会が「ふるさとのみつば会」です。「三浦大根」をはじめとする地域でとれる産物を利用した調理技術、加工技術、行事食を地域へ広めていく活動を行っています。昔から伝えられている調理加工法や、今風に喜ばれる味をこれからも伝えていきます。ぜひ、郷土の食を見直しましょう！



みんなの実家が目指すもの

そういう私は大根の名産地、初声町高円坊で育ちました。実家は、相模湾まで見渡せる小高い丘の上、夏はカボチャ、冬は一面の大根畑とキャベツ畑にほぼ360度囲まれています。小さい頃は、日の出から日の入りまでさえぎるものがない世界で、近所の子たちと、虫や樹や花と遊ぶのが何より楽しいことでした。二十歳の頃に家を出て、東京に住んでいっそう気がつきました。三浦の丘に連なる畑、海の向こうに輝く富士山、月や星空の美しさ、新鮮な野菜や魚の美味しさは格別！です。

ご近所のみなさんも温かく、父母も私たちも大変お世話になりました。今、兄と私が育った家と畑を、「みんなの実家」として、三浦の人や畑の温かさ、大らかさを体験できる場所にしようとしています。都会には意外と「ふるさとがない」方も多く、三浦の家を、家族や友人と折々過ごす、しばらく住む、菜園として通うなど、ご自分の実家のように親しめる場にできたらと考えました。来る方が地域の準住民のようになり、いざという時にも助け合える人の輪が広がれば本望です。

どのまちでも長く住んでいる方には、身近な環境はあたりまえになりがちです。三浦は首都圏にありながら海、山、畑の自然の幸に恵まれ、農業や漁業を中心にした美しい風景の中に、太古から現代までの暮らしが続く、素晴らしいまちです。歴史ある寺社やおまつり、名産品もあります。三浦に長く住む方と訪れる方、移住してくる家族や若者と一緒に、さまざまな人の目で、三浦の魅力「いいところ」を再発見できたら！また新しい未来につながると楽しみにしています。

地域に根付く  
暮らしの文化

TIPS  
03

三浦のあたたかさ、美しさ、おいしさを、みんなのふるさとのように、すべての方へ。地元出身者だから伝えられる魅力があります。

三浦大根の  
旨さを伝える吉田さん

この春「大根料理」で食農教育活動を続ける吉田和子さんにお会いしました。昭和37年に結婚されて三浦に来た頃は、「三浦大根」の全盛期。井戸水やかまどでご飯を炊く時代から、吉田さんは、生活改善活動に尽力。大切に育てた野菜や食べ物の本当の美味しさを伝えたいと、平成5年（1993）、国土庁の食アメリティーコンテストで「三浦大根フルコース」で長官賞を受賞。三浦半島の「ふるさとのみつば会」にも参加して、三浦の野菜、三浦大根を生かした料理を市内の小学生やまちなの方々にパワフルに伝えていきます。

ATTENDAR



椎原晶子さん

地域プランナー／  
株式会社まちあかり舎・あたりアルス株式会社  
代表取締役

専門は、建築物と町並み・コミュニティの再生、アートとまちづくりなど、東京芸大など、大学で講師を務める傍ら、NPO法人たいとう歴史都市研究会でまちの歴史を守り伝える活動をされています。高円坊のご出身です。

## 身近な場所にもさまざまな生き物が

三浦半島周辺は世界でも有数の海洋生物が豊富な地域です。これらの多種多様な生物は、沿岸域の海中や磯など身近に観察することができ、種類の生物もたくさんあるそうです。山田さんの活動を通じて身近な地域資源の魅力を探ってみましょう。山田さんは三崎魚市場に水揚げされる魚の季節変化の調査を日常的に行っています。種類の変化から、三浦を取り巻く海の環境がどう変わってきているのかを研究しているそうです。

12月13日(日)午前5時、山田さんは三崎魚市場で既に始まっていた沿岸漁獲物の水揚げ作業の調査中。作業をする漁協の皆さんは手際よく、魚別に個体の大きさを仕分けしていきます。時折、出荷する魚とは別にカゴ



山田さんは手際よく名前を記していきます。並べられた魚たちは個性さまざまで、2mも超えるような細長い「ダイナンウミヘビ」、小型だがグロテスクな印象の「シビレイ」、サメでも見るからに可愛い「ネコザメ」、と思うと地味ながら「マアジ」と「マルアジ」が対比されていたり、見所満載な展示です。名前を書き込むと「やっぱり!」とか「あっそう!」という名前なんだ!」などさまざまなお声が上がります。子供たちも個体に触ったり、熱心に観察したり、寒空でも熱い空間となる名物企画。「もし、興味を持っていただけたら身の回りの生き物に目を向けて、身近な生物観察に挑戦してください」(山田さん)。

に入れられる魚たちが見られます。

山田さんはそのカゴからめぼしい魚を見つけては、自分の採取用のバケツへと選別します。何を分けているのでしょうか。

「私の研究用に出荷されない魚から選んで提供を受けます。また、この後、朝市会場で展示するための魚も選別します(山田さん)」。

朝市会場で展示!? そう、実は山田さんは三崎朝市の会場で不定期に開催されている「ダンボール水族館」の仕掛人の一人でもあります。

「ダンボール水族館」は三崎朝市の名物企画で、三崎の飲食店「くろば亭」とのコラボレーションから生まれました。近海に生息する多様な生物を紹介する機会として朝市という場を借りて、特に流通に乗らない魚たちにスポットを当てます。ダンボールを地面に広げ、キャンバスに見立てて、魚をランダムに配置します。この作業は「くろば亭」の拓哉さんと娘さんが担当します。配置を始めるのが楽しみで来た来場客が少しずつ周囲を取り囲むように集まってきました。配置された魚の脇に

## 波打ち際の漂着物を観察してみよう

三浦でできる生物観察の方法はたくさんあります。釣り、ダイビング、バードウォッチング、植物観察、地層観察、昆虫観察など。特に山田さんのお薦めは砂浜を歩き漂着物を観察する「ビーチコーミング」。

「よく観察すると波打ち際で波に打ち寄せられたモノたちが帯状に分布しているのがわかります。大きめの貝殻や海藻などがある場所、数ミリ単位の巻貝など細かな漂着物がある場所など思わず座り込んで観察したくなりますよ!貝殻は持ち帰って自宅でも保管できますから初めての生

物調査にぴったりです。その際には漂着物の名前や生息域を調べ、たり着いた経路などを推理すると調べる楽しみが増えますね。カメラやスマートフォンで写真を撮ると、いつでも、何を、誰がなどの記録が残

り資料性も高まりますよ。その際は、被写体の全体、特徴的な部分、向きを変えるなど数枚撮っておくとよいと思います(山田さん)。

最後に、観察するときの注意点を

お聞きしました。「身を守る帽子、靴、手袋などの用意はもちろんですが、場を荒らす、



# 地域の生物資源から探る地域の魅力

海に囲まれた三浦市では、身近な場所でも生き物の多様性を垣間見ることができます。



## 山田和彦さん

観音崎自然博物館  
学芸部長

専門は、魚類、海洋生物。可能な限り海に潜り、生態調査を継続して行っています。また、三崎水産物地方卸売市場へ日々出向き沿岸漁獲物水揚げの状況を調査されています。

LOCAL ACTION  
FILE 06

## 植物記者 金子昇さん



三浦の各地域を訪れて植物野外観察会を行い、そこに生育する植物の名前の由来、エピソード、文学や芸術にまつわる話、地層や地史、自然との共生の大切さなどを解説しています。



LOCAL ACTION  
FILE 07

## 三浦竹友の会

竹林の整備保全を通して三浦半島の美しい自然を残そうと、三浦市内などの竹林を手入れする傍ら、市民センター・小学校・町内会などで竹細工指導を行い、竹の魅力を伝えています。

LOCAL ACTION  
FILE 08

## 三浦の自然を学ぶ会

黒崎の鼻や小松ヶ池公園の定例清掃、池下の田んぼの再生・維持活動をしています。何もしないでいると劣化していく美しい三浦の自然を次の世代へ伝えるために活動しています。



地域記録者  
長島文夫さん



南下浦町上宮田在住の長島文夫さんは、平成2年頃から、上宮田地域の歴史や文化を記録に残す活動を行い、後世の人たちに郷土の過去を知ってもらおうと、13冊に渡る地域記録誌「三浦海岸シリーズ」を手掛けています。

LOCAL ACTION  
FILE 10  
総合情報マガジン  
「goone」



三浦市三崎の出版社アタシ社と、シェアオフィスや古民家の利活用を提案する地域商社「波止場商店」が中心の地元民が主体的に作る、新しい情報マガジンです。

活動人口の存在は、たとえ人口が減っても、元気で価値ある地域であり続けるかもしれません(図表)。今回の取り組みは活動人口を創出するための第一歩になります。その意味ではとても意義あるものだったと評価できます。

市民活動が  
地域の力を高めます

地域を活性化するための要諦は「ないものねだりではなく、あるもの探し」です。市民活動は「あるもの探し」が基本となっているため、中長期的には地域は活性化していくはず。なお、ここで言う活性化とは貨幣価値では得られない活性化です。プライスレス(priceless)です。いずれにしましても、市民活動の結集は、市民の力、地域の力を高めていくことになるでしょう。

一方で、貨幣価値の活性化を望むのならば、戦略性が求められます。それは、①発掘・発見した「あ

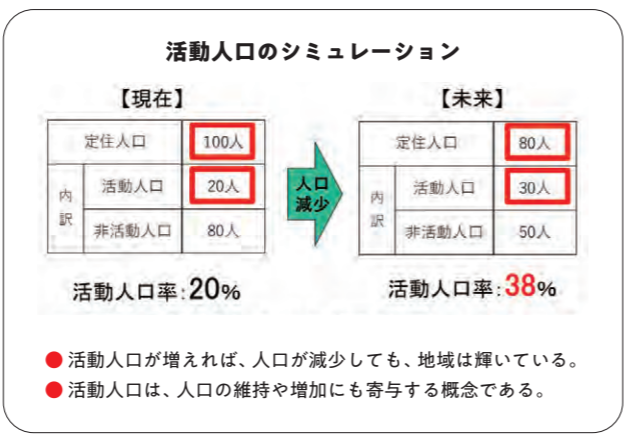
るもの」を磨いて付加価値をつけま  
す。②付加価値をつけた「あるもの」  
に対してターゲットを絞り込みます。  
③ターゲットに対してプロモーション  
(販売促進)して売り込んでいく、  
です。  
付加価値はターゲットに即したも  
のでなくてはけません。これを着  
実に進めていけば、貨幣価値に換算  
できる活性化も実現するでしょう。

関係人口から  
活動人口へ

今日、国は関係人口を推していま  
す。関係人口を「長期的な「定住人  
口」や短期的な「交流人口」でもな

い、地域や地域の人々と多様に関わ  
る者」と定義しています。関係人口  
をよく観察すると「良い関係人口」  
と「悪い関係人口」が存在していそ  
うです。  
良い関係人口に変える「視点」が「シ  
ビックプライド」(Civic Pride)です。  
シビックプライドは「都市や地域に  
対する市民の誇り」という意味があ  
ります。「シビック」には「権利と  
義務を持つて活動する主体としての  
市民性」という含意があるそうです。  
当事者意識に基づく自負心が内包さ  
れます。シビックプライドの醸成に  
は、市民活動が一要因となります。

関係人口は表面的な活動です。シ  
ビックプライドは私たちの心(内面)



に働きかけます。シビックプライド  
の存在は「良い関係人口」へと変化  
させます。そして、私は良い関係人  
口のことを「活動人口」と称してい  
ます。活動人口とは「地域に対する  
誇りや自負心を持ち、地域づくりに  
活動する者」です。

活動人口の存在は、たとえ人口が  
減っても、元気で価値ある地域で  
あり続けるかもしれません(図表)。  
今回の取り組みは活動人口を創出す  
ための第一歩になります。その意  
味ではとても意義あるものだったと  
評価できます。



TIPS  
05

地域資源を  
集め、発信する  
ことの意義



牧瀬 稔さん

関東学院大学 法学部  
地域創生学科 准教授

専門は、自治体政策学、地域政策、  
地方自治、行政学であり、近年は  
「シビックプライド」というキー  
ワードを通じて地方自治体の新しい  
政策提案されるなど全国でご活躍  
されています。

東大生が見つけた三浦の資源。  
それは「ないものねだり」ではなく「あるもの探し」  
という発想から見出されていきました。

東大生インターンは何を感じたか？

東大生の提案を一言で表現すると  
「マイクロツーリズム」でした。マ  
イクロツーリズムとは「住まいから  
1時間程度で移動できる地元地域で  
の観光」を意味しています。コロナ  
禍において観光産業が生き残ってい  
く一手段として、星野佳路氏がマイ  
クロツーリズムに着目したと言われ  
ています。東大生の提案は、時流に  
乗った、よい内容でした。

東大生は、インターンシップ活動  
を通して、三浦市の地域資源を見出  
しました。それを近隣市の住民に売  
り込むことにより、地域を活性化し  
ようとする提案でした。  
三浦市としては、東大生のイン  
ターンシップ活動を一過性として終  
わらせるのではなく、次につなげて  
いくことが大事です。そうすること  
で関係人口から活動人口へとつな  
がっていくでしょう(関係人口と活  
動人口は後述しています)。

この取り組みは「オープンイノ  
ベーション」につながっていきます。  
オープンイノベーションとは「地方  
自治体単独で政策づくりなどに取  
組むのではなく、地域住民や民間企  
業、大学など多様な主体が持つアイ  
デアやサービス、ノウハウなどを組  
み合わせ、革新的なビジネスモデル  
や地域活性化につなげる活動」と定  
義しておきます。

さあ！さっそく  
参加してみましょう！

# 意外とカンタン!? 地域の魅力、 投稿方法

## 投稿方法 01

### メモや紙

この景色いいな、我が家の味伝えたい！懐かしい話がある！みんなにも教えてあげたい！

そんな情報を見つけたら、ぜひ、投稿してください。方法は簡単です。メモでも便せん、チラシの裏紙でも大丈夫！

左下の「**地域の魅力情報投稿基本項目**」を参考に市民交流センター、市各出張所、社会福祉協議会の窓口で投稿できます。

## 投稿方法 02

### 市民交流センター

市民交流センターニナイテ開館日にスタッフにお声掛けください。投稿用紙を用意してお待ちしています。

写真撮影や文章編集などスキルアップ講座や情報を各種メディアで活用していくためのコンテンツ作成講座も開催予定です。お一人でも仲間とでも参加できます。ぜひ、市民交流センターニナイテで活動を始めましょう！

## 投稿方法 03

### メール

携帯電話やインターネットが使える方はメールにて情報を投稿していただけます。必要な項目は左下「**地域の魅力情報投稿基本項目**」を参考にしてください（QRコードでメールが起動します）。

写真はもちろん、動画を送信する方法も用意しています。

e-mail  
info@miuracc.org



## 投稿方法 04

### スマホ・SNS

スマートフォンを活用されている方でSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用されている方は、ぜひ、市民交流センターニナイテをフォローしてください。Twitter、Facebook、LINE、Instagramなど。情報を双方向でやり取りできます。詳しくは市民交流センターニナイテホームページにてご確認ください。

ご投稿の際は「**#三浦地域の魅力大作戦**」を記載してください！

## 教えて！投稿に関する知りたいアレコレ Q&A

Q 地域の魅力って…、難しそう。

いいえ、簡単です！身近な話題がいいのです。あなたしか知りえない**記憶や思い、好きな事柄**を教えてください。

Q 昔の記憶で、不確かな部分もありますが、役に立ちませんか？

細部が**不確かでも構いません**。そのような断片的な情報も集まってくると貴重な情報になりえるのです。ぜひ、投稿してください。

Q 古い写真や雑誌、本などは地域の情報ですか？

とても大事な地域の情報です。お貸しいただければ画像などでお預かりすることができます。できれば**思い出、その時感じたこと**やエピソードも合せて教えてください。

Q 自由な時間が限られているので、一人で活動したいのです。

お好きな時間に、一人だけでもまちのいいところを取材していただいたり、風景をカメラで切り取って投稿するなど、**あなただけの情報**をお知らせください。

Q スマホやインターネットが使えませんが参加できますか？

大丈夫です。市民交流センターニナイテが窓口になりますので、**紙、メモ**などでも参加できます。

Q 文章を書くことが苦手です。

**箇条書きや、メモ**でも構いません。気にせず投稿してください。また、記事を書いたり、編集することを学ぶ機会を用意しますので、参加をお待ちしています。

Q 足が悪いので、出歩くことができないのですが、参加できますか？

もちろんです！**メールやファックス**で送ってください。市民交流センターニナイテや各出張所、自治会のネットワークなどでも受け付けできるよう準備中です。

Q 地域の歴史のことが知りたいので活動したいと思っています。

ぜひぜひ、今活動している団体など一緒に活動できる仲間を市民交流センターニナイテが紹介します。**活動を始めましょう！**

Q 個人のお店のことや紹介したい人物のことは？

ぜひぜひ、教えてください。まちの名店、あのお店のメニュー、まちの**名物おじさん**の話など、**人文資源**と呼ばれるもの全般をお待ちしています。なお、公表する際には個人情報に配慮いたします。

Q 動画を公開できたら…、と思うのですが難しいですか？

意外と簡単ですよ！スマートフォンがあれば**その日から始めることも可能です**。今後、スキルアップするための動画やSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの講座も行います。ぜひ、参加してください。

## 地域の魅力情報投稿基本項目

### 私の知ってる地域の魅力を投稿します!!

お名前	本名・ニックネーム
連絡先	メール・住所・電話・その他
題名	
いつ	現在 ・ 過去 ( 年ころ)
場所	
内容	
分野	食べ物・生き物・景色・風景・暮らし・文化・思い出・まち並み・趣味・習慣・道具・活動のこと・人物・店・その他( )
資料などあれば	資料・書籍・写真・動画・実物・その他

コピーして活用してください

お問合せは  
お気軽に  
三浦市地域資源情報  
プラットフォーム推進協議会事務局  
(特非)YMCAコミュニティサポート  
市民交流センターニナイテ内

電話  
046-845-9919  
FAX  
046-845-9229  
URL  
https://www.miuracc.org/  
e-mail  
info@miuracc.org



昔の暮らし

身近な  
アート・文化

とっておきの  
メニューレシピ

富士山の写真

海辺の景色

季節の花たち

まちの七不思議

我が家のお宝

我が家のお雑煮

自分で  
描いたもの

新婚旅行の  
エピソード

漬物つくって  
ますよ

戦争体験

マイカーの写真

マグロの食べ方

子どもの頃の  
遊び

農業・漁業・  
産業の苦勞話

自分で  
作ったもの

昔の道具と  
使い方

流行について

磯の生物・  
昆虫博士

わたしの  
干物の作り方

潜水レポート

自然の中の  
子どもたち

ドライブの  
思い出

あの店の  
あのメニュー

わたしの好きな  
まちなみ

まちの歴史

祭りの話

マイコレクション  
の話

石碑・道祖神

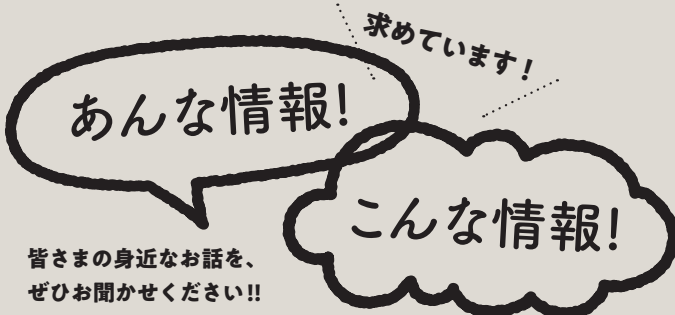
創業秘話

私の先生の話

地域の  
植物のこと

マグロの  
みりん干し作り方

見たテレビ・  
映画の話



### MESSAGE 01

お寄せいただいた投稿は地域のために  
有効活用いたします!

皆さんから投稿していただく情報は、地域を元気にするために活用していきます。小さなメモで役立つの?と思うかもしれませんが、地域の話の「種・ネタ」として集めます。集まった「種・ネタ」は市民記者活動の話題として取材につなげていきます。また、将来に残したい情報、皆に伝えたい情報などは活用できるよう分類して保存記録します。これらの情報が地域を元気にするコンテンツとなって地域のメディアを賑やかにします。

### MESSAGE 02

楽しくスキルアップして、  
どんどん投稿しましょう!

まずは興味を持った講座から受講する。そんな始め方も大歓迎! 投稿を始めるために地域の魅力を見つける方法、写真で切り取る、暮らしの文化を学ぶなどそれぞれの専門家の講座を開設します。また、集まった情報を動画にして伝えたり、体験するための方法=コンテンツ化するためのスキルを学ぶ講座も開設します。一人でも、仲間とでも楽しく活動してスキルアップできます。活躍はあなた次第です。さあ一步を踏み出そう!

お問合せは  
お気軽に

三浦市地域資源情報  
プラットフォーム推進協議会 事務局  
(特非) YMCA コミュニティサポート  
市民交流センターニナイテ内

電話  
046-845-9919  
FAX  
046-845-9229

URL  
<https://www.miuracc.org/>  
e-mail  
info@miuracc.org